

令和3年度 大崎市誕生15周年・東北大学東北アジア研究センター
上廣歴史資料学研究部門設立10周年記念講演会 企画書

1. 趣 旨

令和3年は大崎市誕生15周年，東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門設立10周年の記念の年にあたるとともに，伊達政宗公が岩出山へ入部してから，ちょうど430年の節目にもあたっている。

こうしたことを記念し，江戸時代を通じて岩出山を治めた伊達家をテーマとした講演会を開催して地域の歴史を再確認することで，市民文化の発展に寄与することを目的とする。

2. 主 催 大崎市教育委員会
東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門

3. 日 時 令和3年11月27日（土）

4. 会 場 岩出山文化会館（スコーレハウス）大ホール

5. 講演会

全体テーマ：江戸時代の始まりと幕末・維新の岩出山（仮）

天正19（1591）年，奥州再仕置により伊達政宗が岩手沢城へ本拠を移し，地名を岩出山と改称した。その後，岩出山城は政宗四男・宗泰に与えられ，宗泰子孫の岩出山伊達家が江戸時代を通じて岩出山を拝領することとなる。やがて迎えた幕末・維新の時代，岩出山伊達家も時代の影響を大きく受け，明治2（1869）年，10代当主・邦直は北海道開拓を決意するに至る。

社会が大きな変動を迎えた江戸時代の始まりと終わりの時代，岩出山を治めていた伊達家の動きを追うことにより，これらの時代と岩出山地域の特色の一端を明らかにする。

講師：遠藤 ゆり子氏（淑徳大学教授，日本中世史）

戦国時代から江戸時代初期の伊達家

講師：荒武 賢一朗氏（東北大学教授，日本近世史）

幕末期の岩出山伊達家

ディスカッション

パネラー：遠藤 ゆり子氏（淑徳大学教授，日本中世史）

菊地 優子氏（大崎市教育委員会）

野本 禎司氏（東北大学助教，日本近世史）

コーディネーター：荒武 賢一朗氏（東北大学教授，日本近世史）

観覧料：無料（定員 300名） 事前申込・多数の場合は抽選

タイムスケジュール：

- 12：00 開場
- 12：50 開会・セレモニー（大蔵流謡曲）
- 13：10 講演1「戦国時代から江戸時代初期の岩出山」
遠藤ゆり子教授
- 14：10 講演2「戊辰戦争直後の岩出山ー武士たちの足跡ー」
荒武賢一郎教授
- 14：55 休憩
- 15：05 パネルディスカッション「伊達家と岩出山」（仮題）
- 16：00 閉会